

自己記述型スプリットコアAC変流器 (SD-CT-x) (ACアンペア数からDC電圧トランスデューサー)



HOBO®MX1104およびMX1105データロガーで使用



仕様

電流範囲	SD-CT-020 または CTV-A : 2-20 AMPS AC SD-CT-050 または CTV-B : 5-50 AMPS AC SD-CT-100 または CTV-C : 10-100 AMPS AC SD-CT-200 または CTV-D : 20-200 AMPS AC SD-CT-600 または CTV-E : 60-600 AMPS AC
精度	フルスケールの±2.1% (ロガーの精度を含む)
応答時間 (振幅の10%~90%)	SD-CT-020 または CTV-A : 約 440 ミリ秒 SD-CT-050 または CTV-B : 約 200 ミリ秒 SD-CT-100 または CTV-C : 約 100 ミリ秒 SD-CT-200 または CTV-D : 約 450 ミリ秒 SD-CT-600 または CTV-E : 約 490 ミリ秒
入力電流	AC 電流、正弦波、単相50 Hzまたは60 Hz、負荷率0.5~1.0の進みまたは遅れ
出力	0-2.5 V DC
定格電圧	600 V AC
定格温度	SD-CT-020 または CTV-A、SD-CT-050 または CTV-B、SD-CT-100 または CTV-C : -15° から 60°C (5° から 140°F) SD-CT-200 または CTV-D、SD-CT-600 または CTV-E : -15° から 40°C (5° から 104°F)
構造	UL508に準拠した屋内使用のための成形プラスチックハウジング
ケーブル	1.8 m (6 ft.)
ウィンドウサイズ	SD-CT-020 または CTV-A、SD-CT-050 または CTV-B、SD-CT-100 または CTV-C : 28 x 20 mm (1.1 x 0.8 in.) SD-CT-200 または CTV-D : 39 x 32 mm (1.54 x 1.26 in.) SD-CT-600 または CTV-E : 74 x 62 mm (2.92 x 2.46 in.)
寸法	SD-CT-020 または CTV-A、SD-CT-050 または CTV-B、SD-CT-100 または CTV-C : 79 x 71 x 36 mm (3.1 x 2.8 x 1.4 in.) SD-CT-200 または CTV-D : 100 x 120 x 29 mm (3.92 x 4.72 x 1.14 in.) SD-CT-600 または CTV-E : 135 x 150 x 28 mm (5.3 in. x 5.91 in. x 1.12 in.)
CE	CE マークは、この製品が関係する全てのEU指令に適合していることを示します。

注意

- この製品は、生命または安全用途を目的としていません。
- この製品を危険区域や分類区域に設置しないでください。
- 設置者は、該当するすべての法規に準拠する責任があります。
- この製品を適切な防火および電気エンクロージャ内に取り付けてください。



危険 感電、爆発、またはアーク放電の危険



これらの指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

- 安全な電気工事の慣行に従ってください。
- 米国のNFPA 70E、または該当する現地の法規を参照してください。
- この装置の設置と整備は、資格のある電気技術者のみが行う必要があります。
- この製品を設置する前に、指示を読んで理解し、従ってください。
- 機器の作業または内部で作業する前に、すべての電源装置をオフにしてください。
- 適切に定格された電圧検出装置を使用して、電源がオフになっていることを確認してください。
- 電圧表示について、この製品に依存しないでください。

仕様メモ: CE準拠のために、導体はIEC 61010-1 : 2001、設置カテゴリIIIまたは同等のものに従って絶縁しなければなりません。製品設計は、必要最小限の絶縁のみを提供しています。

HOBO MXアナログ/温度/相対湿度/照度 (MX1104) またはHOBO MX 4チャンネルアナログ (MX1105) データロガーでSD-CT-x または CTV-xセンサーを使用する

- ロガーのアナログセンサーポートにプラグを挿入します。センサープラグが停止するまで時計回りに1/4回転させます。
- HOBOconnectで、ロガーに接続し、 をタップします。センサータイプは自動的に選択されます。他のロガー設定を設定し、 をタップします。ロガーの設定の詳細については、<https://www.onsetcomp.com/hoboconnect> のHOBOconnectユーザーガイドを参照してください。

設置

- I-barのヒンジで開いて、SD-CT-xまたはCTV-xセンサーを単相の個々のワイヤーの周りに取り付けることができます。I-barを回転させて開きます (SD-CT-200またはCTV-D、SD-CT-600またはCTV-Eユニットで、I-barタブを押して開きます) CTウィンドウにワイヤを配置し、I-barをパチンと閉じます。
- SD-CT-200またはCTV-D、SD-CT-600またはCTV-EユニットのI-barは、簡単に設置できるように完全に取り外し可能です。正しい読取値を確保するために、I-barが適切な方向に取り付けられていることを確認してください。ユニットとI-barの接点には、合わせマークが付いています。
- SD-CT-020またはCTV-A、SD-CT-050またはCTV-B、およびSD-CT-100またはCTV-Cユニットには、CTから取り外して別々に取り付け可能なスナップ式取付プレートが付属しています。監視するワイヤーの下にプレートを取り付け、ケーブルをCTに取り付けたら、CT/ワイヤーアセンブリを取付プレートにパチンと取り付けます。
- CTを開いてプレートからスライドさせるか、またはCTをわずかに揺り動かし同時に引き上げて、プレートからCTを取り外します。